

成熟都市京都の社会教育

西 岡 正 子

- I. 都市の成熟と人間の成長
 - 1. 成熟都市と教育
 - 2. 使用謡にみる社会教育と今日の「通り名唄」
 - 1) 町会所と使用謡
 - 2) 「京の通り名唄」の継承
- II. 京都市の民間社会教育機関
 - 1. 京都市の民間社会教育機関調査
 - 2. 京都市の民間社会教育機関の概要
- III. 学びの場、成熟の場としての京都

I. 都市の成熟と人間の成長

1. 成熟都市と教育

生涯教育においては、学習の場すなわち空間と、人間の各時期すなわち時間が人間の成長を目指す教育で統合されることが求められている。都市における人間の成長の機会を、生涯学習体系構築において最も重要な要素であるこの教育における空間と時間という観点から考察し、成熟都市と教育との関係を明らかにしたい。

成熟という言葉は、植物や生き物、中でも人間に対して用いられてきた。人間の教育においては成人教育における目的の一つとして用いられている。1900年代の初めは成人教育の目的としては、“whole person” が用いられていた。“whole person” は、伝統的なリベラル教育から生まれたものであり、合理的かつ批判的思考が出来、洗練された美的感覚を有し、道徳的に優れ、健康を維持できる人間、さらにこれらの資質がうまく統合されている人間を指す¹⁾。

“maturity” または “maturing person” という語が使われ、成熟または成熟した人

間を目指す教育が成人教育の目的とされるようになったのは1900年代後半である。一般に成熟とは、植物や生き物が十分に成長した状態を表す場合に用いられる。また情勢や機運においても、それらが熟して十分適当な時期に達することを意味する。しかし、成人教育における成熟は、到達されたある状態ではなく、動的な過程を示すのである。

オーバストリート (Harr A. Overstreet) は、成熟した人間とは、そこで静止している人間ではなく、学習を継続し、常に成長し続けようとしている人間であると規定している。さらに知識に関しては、知識を多く持っているという静的な状態ではなく、多くの知識を獲得し、それを使用しようとする動的な姿勢を指すと述べている²⁾。ノールズ (Malcom S. Knowles) は、個人のニーズの一つに成熟を揚げ、個人の成熟を助けることを成人教育の目的としている。成熟のファクターには、依存から自律へ、模倣から創造へ、受動的から能動的へ等、15種揚げられているが、それらのどのファクターにおいても、到達された絶対的なある状態を指すのではなく、成長の方向に向かっていることが重要なのであり、この絶やまぬ成長の方向への進歩が成熟と考えられている³⁾。

ヴァージャビン (Paul Bergevin) も、“mature”すなわち成熟は個人が完成へと成長・発展することであるとし、“maturing person”すなわち成熟している人間とは、継続的に進歩している状態の人を指すとしている。従って成人教育の目的は、成人が自由かつ責任ある個人へと、また創造的で生産的な個人へと成熟し、成人がその成長を通して社会に貢献するのを助けることであると述べている。すなわち人の成熟と社会との関係は切り放し得ないものとし、人の成熟が、民主社会の発展や社会自体の成熟をもたらすと捉えられている⁴⁾。

ユネスコにおける生涯教育論においてもフォーラム報告の『Learning to be—The world of education today and tomorrow (ある存在のための学習—今日及び明日の教育の世界)』にみられるように、学習社会における「在る存在様式」(to be) のための学習や、「完全な人間」(completeman) になるための学習また、「賢く楽しく良く生き

1) Beder, Hal. “Purposes and Philosophies of Adult Education.” in *Handbook of Adult and Continuing Education*, edited by Merriam, Sharan B. and Cunningham, Phyllis M. San Francisco: Jossey-Bass Inc., 1989, p. 42.

2) Overstreet, Harry A., *The Mature Mind*. New York: W. W. Norton, 1949, p. 43.

3) Knowles, Malcolm S., *The Modern Practice of Adult Education*, New York: Association Press, 1970, (pp. 24-28)

4) Bergevin, Paul, *A Philosophy for Adult Education*, New York: The Seabury Press, 1976. p. 7.

る」(“to live wisely and agreeably and well”)という「人生の真の価値」(“the real value of life”)の追求を助ける学習が提唱されている。

成熟都市というものを、生涯教育や社会教育の観点からみると、その都市における人間の成熟の可能性が重要な要素となる。成熟都市には、都市住民に対し、常に成長し続けることが可能な機会や場所を与え、環境を整えていることが求められる。バージャピンは、人間の成熟と社会の成熟をその相互作用とみなし、人間の成熟を可能ならしめる社会は、その社会自体も住民の成長により成熟し得ると述べている⁵⁾。人の成熟を可能ならしめるためには、都市自体も常に活性化され変化発展し続けることが必要である。成熟は人と関わる語ではあるが、その人の成熟との関わりにおいて、都市とも深く関わるということができる。

2 使用謡にみる社会教育と今日の「通り名唄」

1) 町会所と使用謡

室町時代以降、京都の市民の日常生活、すなわち町政は、町組織による自治が行われていた。町組自治の執行の場が、各町における町会所であった。町会所は、町の集会所の機能を持つ町有の施設で、町組自治の中核であった。町会所において、「町式目」を定めること、所司代や町奉行からの触の相互確認、町内の借家申請者の審査等、町自治に関する事項を協議決定していた。会所での寄合は町汁ともいわれ、各自が膳を持ち合って飲食を共にしながら町内の諸行事を協議した。また会所は心学講話などにも利用されていたという⁶⁾。林屋辰三郎は、「この「会所」こそが実は社会教育の場にほかならないことである。」⁷⁾と指摘しているように、会所は、町の住人の情報交換の場であり、学習の場であった。すなわち、今日叫ばれている地域における生涯教育の場であったといえる。この自治の場であり、学習の場である会所で教養され、子弟の教養に供されたのが使用謡である。

使用謡について、辻本雅史は、「きわめて日常的に市中の会所や寺小屋などで素謡の素養のある人によって指導によって稽古され、子弟の教養に供されたものと思われる。ところで、『使用謡』の成立の前提には、京都市民の世界に素謡が一般化している状況があった。能謡は京都人の生活に密着した遊芸になっていた。」⁸⁾と文化の都京都ならではの基盤について述べている。林屋は「室町時代の庶民の最大の教養は、古

5) Ibid. pp. 8-10.

6) 林屋辰三郎「庶民生活と芸能」『岩波講座日本歴史12近世4』, 岩波書店, 1976年

7) 林屋辰三郎『人間・故郷・文化』朝日新聞社, 昭和55年, 234頁

8) 衣笠安喜編著『京都府の教育史』思文閣出版, 139頁

典であった。特に京都のような都市民衆においてそのことが考えられた。そして古典を何によって学んだかと言えば、能謡であったと言えるだろう。祇園会の山鉾の主題となっている和漢の故事はすべて能謡の素材となった古典であった。それと同じように江戸時代の庶民は、より実用的な知識を身につけようとしていた。そこに『節用集』が愛用された理由があった。この『節用集』を単に索出する辞書としてでなく日用の知識とするために発案されたのが、実に『使用謡』である。それは『節用集』の知識を素材とした謡曲なのである。⁹⁾また、使用謡の盛行は、江戸中期以後であると、これらの謡の習練の場としては町会所が考えられると述べている。使用謡の「九重」の一部分が簡易な京都の町名記憶法となったのも、本来は町会所の所在地を示すのが目的であり、町会所が流布の原点であったとしている¹⁰⁾。

中村保雄は、「丸竹夷二押御池…」と節をつけて謡う京都の町の覚え方が江戸時代の中頃には京都人の常識になっており、それが『使用謡』の一つであると指摘している。室町末期にいたって、謡の専門家である猿楽者以外の人々にも謡が普及してきており、当時、謡は貴族たちの必須の教養であったばかりではなく、武家や町家の上層階級の間では謡を楽しむ謡講とよばれる集りさえも組織されていた。近世初期にいたって、謡は一般民衆のものとなって広がりを見せていく。「使用謡」は江戸の中頃に成立し、「謡曲の形式をかりて作詞し、また節付をも施して日常一般に必要な事項を暗記しやすくした謡本で、つまり使用とは、読んで字の如く、便利なテキスト的役割を荷なったものと解釈すればよいだろう。」¹¹⁾と述べている。また、林屋はこれを「社会教育の教科書」でもあったと指摘している¹²⁾。

このように京都においては自治の精神と学びの精神が結び付き、町会所という社会教育の場で心学が講ぜられ、使用謡が教えられていた。使用謡の収載曲目は次の15曲である。「躰乃端」（8歳以後の社会交際上のマナーや身だしなみ。「躰方之事、当流躰方」として受け継がれていく。）、「竹弄」（算術。「九九・九九の数・九九八算・八算割声」として受け継がれていく。），「七十二候」（季節の詳細の呼び方。十二月異名」として受け継がれていく。），「秋津国」（日本の国名。「大日本国尽・国尽」として受け継がれていく。），「王代記」（歴代天皇の名。），「九重」（京の縦横街区名。「京町尽」として受け継がれていく。），「駅路」（東海道以下主要街道の宿駅名。「大都会地名」として受け継がれていく。），「順礼」（西国二十三ヶ所の霊場・札所巡り。），「服忌令」

9) 林屋辰三郎『岩波講座日本歴史12近世4』200頁

10) 同上書、201頁

11) 中村保雄『『使用謡』について—謡文化の一つの道—』『芸能史研究 三八号』1972年7月

12) 林屋辰三郎『人間・故郷・文化』前掲書、235頁

(各種服忌の親疎別の日数),「画図」(漢画の主要な画題名),「十四経」(針灸術のつぼの心得),「日蓮御書」,「一向三国伝来」,「選択集」(それぞれ法華・一向・浄土の各宗の教義の概要)。このように文学から地理・歴史と広範な分野の種々の知識を集約している。

2)「京の通り名唄」の継承

九重に繋がる「丸・竹・夷・二・押・御池…」と今日も歌われる「京の通り名唄」は今日どの程度継承されているのであろうか。以前のような町会での指導は無くなったとはいえ、今日も知る人々の多い歌である。京都の社会教育の歴史を彷彿させる「京の通り名」の歌が現在どのように継承されているのかを明らかにすることを目的として調査を行った。調査年月日は、1994年7月5日、8日であり、調査対象は、佛教大学学生1回生から4回生(18才~24才)191名、内男76名、女115名。調査は質問紙を配布し、回答後その場で回収する方法をとった。

大学生を対象とした調査結果は、全体の約4割が「京の通り名唄」を知っており、中でも「京都育ち」の学生の87%は「京の通り名唄」を知っていることが明らかになった。「京都育ち以外」の学生の「知っている」は、20.7%に過ぎず、京都生まれであることと「京の通り名唄」を知っていることに関連がみられた(表1, 図1)。正確に歌えるかどうかとなると、「歌える」は全体の16%に過ぎない。しかし、「京都育

表1 育った場所と通り名唄を聞いた経験の有無

	聞いたことがある		聞いたことがない		合 計	
京都育ち	47	87.0%	7	13.0%	54	100.0%
それ以外	28	20.7%	107	79.3%	135	100.0%
合 計	75	39.7%	114	60.3%	189	100.0%

カイ 2 乗値 (自由度) 70.82747 (1)
有意確率 0.000

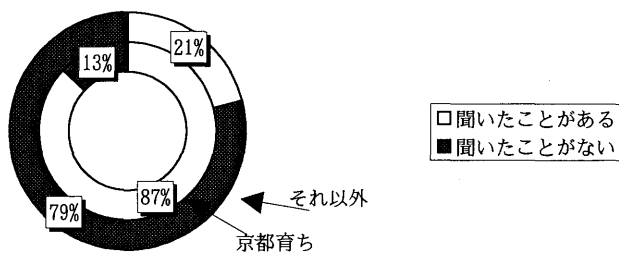


図1 育った土地による比較

ち」の学生に限ってみると37%が「歌える」と答え、「京都育ち以外」の学生の「歌える」7.5%とは大差がみられ、「京都育ち」であることと「歌える」こととにも関連があることが明らかになった（表2）。

いつ頃聞いたかという質問に「京都育ち」は小学校時代が最も多く33.3%を占めている。小学校時代以下と小さい頃を加えると子ども時代に51.3%もがすでに「京の通り名唄」を耳にしている。また、わからないが23.1%をも占めていることは、意識しないうちにすでに聞き覚えているという、この唄の生活密着性を表している。わからないを含めると、大人になる前に約7割がこの歌を聞いているということになる。「京都育ち以外」では高校で聞いたというものが一番多く71.4%を占めている（図2）。

誰から聞いたかでは「京都育ち」の62.8%は、祖父母・両親から聞いている。家庭での伝承は、まだ生きているといえよう。小さい頃祖母から教えてもらったというものから、車を運転していて道に迷った時、両親から教えてもらったというものまであった。今日でも、様々な形で家庭で親から子に伝えられているようである。「京都育ち以外」の場合は友人・知人が一番多く29.6%となっている。京都に来てから友人が

表2 育った場所と通り名唄を歌えるか否か

	歌える		歌えない		合 計	
京都育ち	20	37.0%	34	63.0%	54	100.0%
それ以外	10	7.5%	124	92.5%	134	100.0%
合 計	30	16.0%	158	84.0%	188	100.0%

カイ2乗値(自由度) 25.10201 (1)

有意確率 0.000

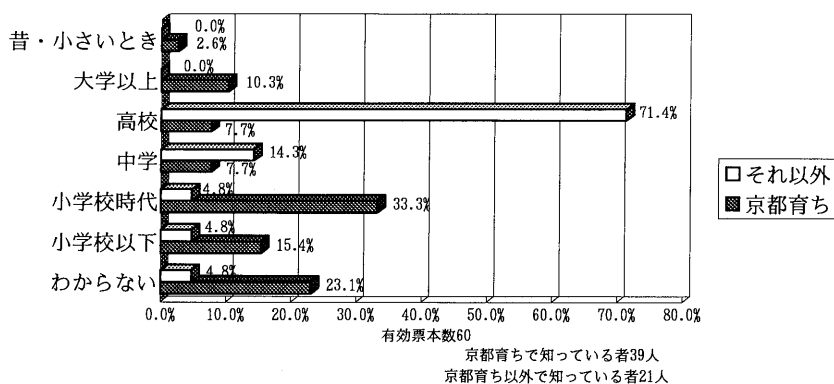


図2 いつ頃聞いたか

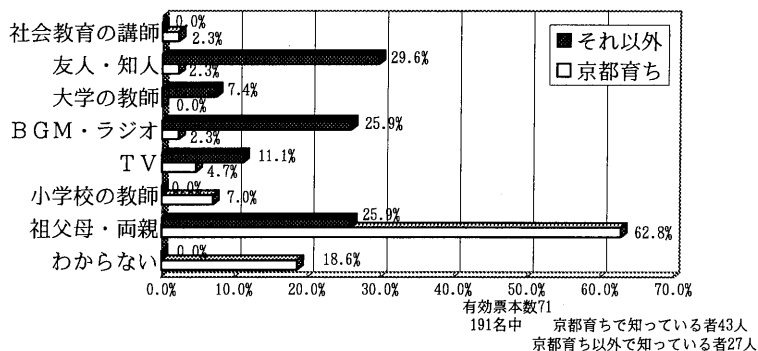


図3 誰から聞いたか

便利だからと教えてくれたという者や、高校時代の下宿先の大家さんに覚えるように言われたというものがあつた(図3)。また、育った場所に関わらず、今日ではラジオ・テレビなどのマスメディアが発達しBGMが流される等、多様な方法で歌を耳にする機会が増えている。古くからの通り唄も18.5%と全体の2割近くは、このような新しいメディアによって伝えられている。中には、NTTのテレホンサービスの中の“京の通り名唄覚え唄”を聞いて覚えたという者や、CDの“京のわらべ歌”を買って練習したという者もいた。車を運転中に教えてもらったという者が約1割もいた。車社会においてもというより、車社会であるからこそ、すぐに道路名がわかる通り名唄の実用性がさらに発揮されているといえる。

大学生達に伝承した祖父母に当たる年齢の人達若干名に対して1994年10月に聞き取り調査をしたところ、高齢者も祖父母や親から聞いたという場合が多かった。京都在住の66才から82才の高齢者14人のうち9人は祖父母又は両親に教えてもらったと答えている。82才の女性は「小さい頃、両親に教えてもらった。子どもの頃お遣いに行く時、丸・竹・夷・二…と頭の中で歌っていた。道を間違えないで大変便利だった。」という。祖父母や親以外から聞いたという5人のうち2人は「知らぬ間に覚えていた」と「いつの間にか歌えるようになった」というものであり、残り3人は近所に住むおばあさんから友人から、そして「丁稚として京都に来た時、店の人達から仕事の際、道を間違えないよう一番に覚えさせられた。」(72才男性)というものであった。京都で暮らす場合、また働く場合は、通り名唄は昔から大人にとっても子どもにとっても大変実用的であったものと思われる。その実用性由に、現在に至るまで親から子へと伝承され、さらに今日にあっては多様なメディアによる伝達に加わっている。京都に住み暮らす人々と使用謡の文化は今日も深く結びついていると言える。

Ⅱ．京都の民間社会教育機関

1．京都市の民間社会教育調査

京都は歴史的に文化の中心であった。すなわち民間社会教育機関が日本で最も発展していた。近年、生涯教育概念の普及にともなって府・市・町村の学習機会の提供や大学開放がさかんになりつつある。この変化の中で、歴史と伝統に支えられてきた京都の民間社会教育機関は、どのような状態にあるのだろうか。公的な社会教育施設、大学開放、大規模な民間社会教育機関（カルチャーセンター等）は比較的容易に把握できるのに反して小規模な私的教育機関については、常に身近にその役割を感じてはいるものの今まで全体像の把握をしてこなかった。本研究においては、実態調査の実施をし、その現状を分析し、京都市の成熟について考えてみたい。さらに次章において今後の課題と展望を探りたい。

〈調査の目的〉現在の民間社会教育機関の実態を把握し、京都における社会教育の今後の課題と発展を考察する。

〈調査の方法及び期間〉京都市の電話帳（NTTタウンページ利用期間93年7月～94年6月版、95年7月～96年6月版）に記載されている民間社会教育機関を調査対象とする。電話調査、調査票郵送、訪問により情報を収集した。調査期間は1994年6月1日より1995年6月30日である。

〈調査結果・考察〉電話調査：984件、内（回答595件、無回答389件）。調査票送付：278件、内（回答102件、無回答176件）。訪問調査：15件、内（回答15件、無回答0件）。閉鎖判明：114件。合計：1391件。

質問に対する回答を得られなかった機関（教室）も閉鎖を除いて、地域分布において表示をしている。経営者は同じであっても数科目教えている場合は、科目ごとに分類し、各科目一教室として数えている。民間の社会教育機関は、形態や規模等が種々様々であり、開業時間に長短がある。本調査においては、学習の機会を与える場所が何ヶ所あるかということのみを明らかにした。場所の数による機会の多少ということにおいて教室数の検証は、十分意味を持ち得ると考えられる。また回答拒否が多く調査は困難を極めたが、経営に関わる問題としての拒否としてノーアンスーを特に検証はせず、得られた回答の中から考察をすることとした。しかし個別に得られた具体的な意見や考えは貴重な資料としてできるだけ取り上げ、考察の対象とした。

科目別特徴

科目分類は資料1の通りである。

1) 音 楽 (イ)ピアノ関係, ギター, バイオリン (ロ)琴, 三味線, 尺八, 詩吟, 民謡 (ハ)歌謡, その他 (カラオケ等)

(イ)のピアノ・ギター・バイオリン等は, 中京区 (21), 左京区 (18), 伏見区 (17), 西京区 (16) に集中している。(ハ)の歌謡も中京区 (7), 下京区 (6) と集中がみられる。またこれらは, 自宅ではなく多くは専用施設を使用している。それに比して, 琴・三味線・尺八・詩吟・民謡は, どの区にも数教室で, 半数が自宅である。月謝は5000円から10000円前後である。(ロ)の琴, 三味線等に分類されているものが一番安く(ハ)の歌謡が一番高い。

(イ)のピアノ関係, ギター, バイオリン等は現在の状況は以前と比べて下降27.5%, 同じ31.9%, 上昇40.6%と各教室により様々であるが将来は拡大 (58.5%) させていく傾向にあるようだ。(ロ)邦楽, (ハ)歌謡は, 現状維持の傾向が強いといえる。カラオケブームにより, カラオケ教室の生徒が一時増えるが不景気になってから減少してきたという。また, 子どもから大人まで幅広い年齢を対象としているだけに, 子どもの数の減少による生徒数減や, 受験時期の生徒の多くが止める等, 子どもの学習者の減少の声が多く聞かれた。しかし, また, 大人を対象に拡大したいや, 今まで少なかった男性の成人を増やしていきたいという声, さらに, 本当に学びたいという学習者に重点を置いていくという声が聞かれた。(イ)のピアノ関係ではピアノ, ギター, バイオリンの他, 各種弦楽器, シンセサイザーコース, フルート, ドラム等のコースを新設し, 幅広く音楽愛好者に応えるという傾向がみられた。邦楽は, 設立が100年以上前というところ等, 古くから教授しているところが多い。琴等は, 昔は, 若い女性のたしなみとして多くの人が習っていたが現代では趣味として楽しむ人にも限定されてきた等, 学習者のニーズの変化がみられる。また, 容易に資格が取りにくいいため, 早く資格の取れる現代的習い事に移っていく傾向がみられるとの声がきかれた。しかし学校教育の中の大学の箏曲部にみられるように, クラブやサークル活動として多くの若者の指導をしているところもみられる。伝統的音楽にたずさわる指導者からは, 師匠と弟子という人間関係が今では持てなくなったことを嘆く声がきかれた。

2) 書道・ペン字

比較的各区に分散している。どこにも近くに習うところがあるという状態である。自宅を開放して指導しているというイメージが強い科目であるが回答者の73.9%が自宅以外の専用の建物で指導している。これは, 文化教室やカルチャーセンターでの指

導が多いからである。月謝・入会金とも5000円前後が多い。

回答者のうちの37.5%が現状は以前と比べて下降、37.5%が同じであると答え、決して良い状態でない様子がうかがえる。子ども、学生の減少及び、塾通いが始まるとやめていく生徒の数が増えてきているというものや、もっと大人の生徒を増やしたい等、子どもから大人へ重点を移していきたいとの声もきかれる。今後の展望では回答者の55.3%が拡大を考えている。書道だけでなく作法も教えているや、日本古来の伝統を受け継いで欲しいという声等、指導者の意気込みが感じられる。設立年度は、数百年前からという回答があり、伝統の町京都ならではの社会教育がうかがわれる。

3) 囲碁・将棋

右京区(9)、中京区(7)、伏見区(6)、下京区(5)で71.0%を占め西京区や東山区にはみられない。月謝は、2000円から14000円と幅があり、平均すると7000円前後になるが、1日500円～1000円というものもある。一局敗者負担というものもある。回答者の中では、自宅が40.9%と多い。設立年度の平均は1983年と比較的新しい。以前は子どもも多かったが最近は減ってきているという声がきかれた。現在の状況は以前と比べて下降23.8%、同じ66.7%、上昇9.5%、展望は縮小0.0%、現状維持81.8%、拡大18.2%と、ともに現状維持の傾向が強い。

4) 絵画・美術

中京区(8)、下京区(7)、伏見区(7)、左京区(6)、山科区(6)の地域を中心に分散している。自宅の使用は回答者の24.2%のみで、他は専用の別の建物を教室に使っている。月謝は、5000円から37500円と幅が広く平均10000円前後である。入会金も7500円から50000円と幅が広い。教室の歴史は古く、1894(明治29)年から続いているというものもある。

5) クラフト関係 (イ)クラフト、手芸、染色、七宝焼、彫金、人形、彫刻 (ロ)陶芸 (ハ)フラワーデザイン

(イ)クラフト、手芸等は左京区(8)、下京区(8)、右京区(8)、上京区(7)に集中し、その他の区は非常に少ない。(ロ)陶芸は右京区(3)が最も多く、他は少ないかまたは無い。(ハ)クラフト全体の78.9%は自宅以外を教室の場としている。月謝はクラフト関係は、種類により2000円から90000円と幅があり、平均約10000円である。陶芸は5000円、フラワーデザインも5000円から25800円と幅があるが平均は約10000円である。現在の状況は回答者の中では以前と比べて、下降28.6%、同じ33.3%、上昇38.1%とほぼ3つに分かれる。展望においては、縮小10.5%、現状維持が63.2%、拡大が26.3%とはほぼ現状のまま継続する傾向がみられる。陶芸においては、希望者が多いが、一

度に多くを教えられないや急な拡張が困難であり希望に応えられない等の声がきかれた。フラワーデザインや手芸は、協会の資格を出して、ライセンス化されてきている。

6) そろばん

右京区 (11), 上京区 (8), 山科区 (8), 伏見区 (7) の順に多く中京区や下京区中心の、他の科目の教室と全く異なった分布がみられる。

規模においても自宅が46.4%と一番高い割合を占める。月謝は、3000円から20000円と幅が広く中間値は5000円である。現在の状況は回答者の78.6%が以前より悪いと答え、展望も59.3%が現状維持のままであると答えている。伝統のそろばんをもっと広めたい、計算能力を高めるために、もっと広めるべきだという指導者の希望に反して、生徒の低年齢化、減少化が顕著である。他の教科の指導を加えたり、別の学習機関を併設し、発展させていきたいという声もきかれた。

7) 料理

中京区 (8), 下京区 (6) と全体の半数が都心に集中している。上記都心2区への集中からもわかるように約8割が専用の建物を使用している。月謝は5000円から80000円と幅が広く、中間値は8000円である。現在の状況は回答者の81.8%が以前と同じかよくなったと答えている。展望も36.4%が現状維持、63.6%が拡大させていきたいと答えている等、将来への発展が期待されている。高齢者の学習者が増加しているので高齢者クラスの増設が考えられている一方で、若者がけいこ事の多様化により減少しているという声もきかれた。料理作りだけではなく、遊びの要素を加えた新企画等が考えられている。

8) 幼児教室

北区 (5), 左京区 (5), 下京区 (5), 山科区 (4) の他は1, 2あるのみである。幼稚園に出張というケースも含めて回答者すべてが専用施設で指導を行っていた。月謝は5000円から38000円までと幅広い。以前に比べて悪くなったのは、回答者の33.3%に過ぎないが幼児数の減少で生徒が激減しているという声もきかれた。将来展望は、現状維持36.4%, 拡大63.6%と発展させる方向にある。

9) 語学

下京区 (50) と都心、交通の便の良いところに集中している。中京区 (27), 左京区 (27) が続き、自社ビル、テナントを使用した専用の建物での教室が9割を占める。月謝は、3000円から85000円と幅がある。入会金も3000円から150000円と幅が広い。回答者の37.7%が以前より良くない状態であると答えている。景気の悪化とともに生徒数が減少したというものや、子どもの学習者が減ってきたというものが多い。しか

し、将来は拡大していきたいというのが64.2%もある。ニーズの多様化への対応や学校、企業への出張授業等によって拡大していくという声もきかれた。

10) 教養, その他

下京区(16), 中京区(15)と都心に約半数が集中している。これらの科目は、大手カルチャーセンターにおいて提供されているからである。したがって83.9%が専用の建物を使用している。月謝は1000円から30000円と幅が広いが5000円というのが最も多い。現状は以前と比べてあまりよくないが、回答者の42.3%もある。また将来展望においても現状維持が最も多く68.0%を占める。拡大には、スペースを必要とすることから困難であるとの声がきかれた。

11) 華 道

中京区(22)に最も多い。以下、下京区(11), 左京区(11), 右京区(11)と続くが各区に分散されており、京都中に広がっているといえる。自宅での指導がかなり多く4割近くもある。月謝は4000円から40000円と幅広いが、4000円から5000円が最も多い。設立年度の平均は1956年と本調査では合気道の1952年, 日舞の1954年に次いで3番目に古く, 1895(明治28)年からという教室もある。以前と比べて現在の状況は下降40.5%, 同じ51.4%, 上昇8.1%と良くないが, 将来展望においては縮小2.9%, 現状維持60%, 拡大37.1%と回答者は現状維持又は発展を願っている。

12) 茶 道

上京区(18)が最も多く, 下京区(12), 北区(10), 右京区(11), と続く。華道と違い知り得る範囲ではあるが東山区(1), 西京区(0), 南区(0)と地区によりかたよりがある。自宅教室が約半数を占める。月謝は, 3000円から18000円と幅があるが5000円が最多であった。72.7%が大人のみを対象としているのも特徴といえる。設立年度は1916(大正5)年というもの等古いものが多い。現状は回答者のうち31.4%が以前より悪くなった, 45.7%が同じ, 22.9%がよくなったと答えているが, 将来展望においては, 縮小6.3%, 現状維持50.0%, 拡大43.8%と発展を目指している教室が多い。昔は年配の人が多かったが現在は余暇を楽しむ若い人が増えてきた。最近の方が関心が高まっている。時代にあった茶道, 煎茶道をやっていききたいという声が聞かれた。

13) 香 道

下京区(1)の専用建物を教室にしている。大人を対象としている。現状は以前よりも良く, 今後も現状維持を目指している。

14) 洋 裁

下京区 (9), 中京区 (7) の都心を中心に上京区 (6), 伏見区 (4), 南区 (4) の他は, 西京区 (0) を除いて数ヶ所づつ点在する。都心はビルなどの専用建物を主とするが, その他の地区では自宅が多い。ほとんどが大人を対象としている。月謝は5000円から20000円の間で6000円が最も多い。初めは月謝をとるが, 腕が上がると仕事をしてもらい給料を支払うというところもある。現状は回答者の半数が悪くなった, 残り半数が同じと答えているが, 将来展望においては56.3%が現状維持, 31.3%が拡大と答えている。生徒数は減少してきたが手作りの良さが見直されてきた。習わねばという人より友人を作ろうという人など学習者の多様化に対応したいや, 専業主婦も取り組んでいきたいという声が聞かれた。

15) 和 裁

上京区 (6), 中京区 (5), 下京区 (5) を中心に各区に数ヶ所づつ点在する。68.4%と圧倒的に自宅を使った教室が多いのが特徴である。多くは大人のみを対象としている。1927 (昭和2) 年からという古くからの教室もある。月謝は3000円から数万円と比較的高い。現状は回答者の25.0%が下降, 56.3%が同じ, 18.8%が上昇と答えているが, 将来展望は5.9%が縮小, 64.7%が現状維持, 29.4%が拡大と答えている。以前は花嫁修業として習った人が多かったが, 現在はプロを目指す人や趣味として学ぶ人等学習者のニーズの変化と多様化が見られる。

16) 編み物

左京区 (9), 右京区 (8) を中心に伏見区 (6), 上京区 (6) が続く。他の区も多く, 比較的各区に多く存在する。半数が自宅を使っており, 小規模な教室が多い。月謝は, 2000円から18000円であるが, 5000円が最も多い。協会が講師資格を与えている。回答者の75.0%もが現状は悪くなったと答えている。将来展望は縮小14.3%, 現状維持61.9%, 拡大23.8%である。機械編みより手編みが好まれるようになったや, 若者は減少したが高齢者が増加したという声が多く聞かれた。

17) 着付け

下京区 (20) に集中しているが, 中京区 (8), 右京区 (7), 伏見区 (7), 山科区 (7) と比較的各区に多くある。都心の教室は貸しビルを用いる等70.6%が自宅外の建物を使っている。月謝は, 1000円から20000円と幅が広いが5000円が最も多い。現状は回答者の内, 下降31.0%, 同じ44.8%, 上昇24.1%であるが, 将来縮小3.7%, 現状維持48.1%, 拡大48.1%と発展の意向がみられる。着物離れから生徒が減ってきたという声が多いが, 中年層のみ増加がみられるという。一教室当りの生徒数の減少には教

室数の急増も一因であるとの見方もある。

18) ワープロ・パソコン

下京区(28)と中京区(18)に集中している。伏見区(9)の他、他の区は3～4ヶ所である。回答者の総てが専用建物である自社ビルや貸しビルを使用しており、規模の大きい教室で教えられていることが特徴的である。月謝は4000円から4万円台までと種々あるが、1万円台と4万円台が多く、高額である。入会金は5000円が最も多い。現在の状況は回答者中の67.6%が以前と同じと答えているが、将来展望は68.6%が拡大と答えている。将来の発展がうかがえる。設立年度は回答者の平均で1979年とスポーツや語学と同じく比較的新しい。それだけに都心のビルに集中しており、広報も新聞・雑誌を中心にポスター・看板、チラシが多い。重点がワープロからパソコンに移ったという声も聞かれた。またここでも景気による影響の他、変化が激しいので、現状に合わせた対応をしているとの声が聞かれた。学生の他、高齢者の増加等の多様化がみられる。

19) 健康(エアロビクス、体操、ヨガ、その他)

下京区(13)が最も多く、伏見区(10)、中京区(9)、上京区(9)が続く。他の区も満遍なく3～5ヶ所もある。ほとんどが専用の建物を使用し、自社ビル(37.0%)や貸しビル(54.3%)を使用している。月謝は2000円から20000円であるが、5000円が最も多い。回答者の55.6%が現状は以前よりよいと答え、将来展望も拡大が68.0%を占める。個人の健康意識の高まりとブームが相まって、学習者は増加の傾向にあるという声が多く聞かれた。資格は国際的なものが種々あるようである。

20) 舞 踊 (イ)日舞 (ロ)バレー (ハ)社交ダンス、ジャズダンス、舞踊、その他

(イ)日舞

上京区(10)、左京区(9)を中心に、北区(0)、南区(1)を除く他の区にも4～8教室と多く存在する。規模は5割もが自宅と個人の教室が多いのが他の舞踊との相違点である。月謝、入会金とも1万円が最も多い。現状は回答者中半数が以前より良くないという状況であるが、将来展望においては約半数が現状維持、残りの約半数が拡大していきたいという希望を持っている。歴史は古く、平均設立年度も全科目の中で2番目に古い。1892(明治25)年や1894年(明治27)年からという教室が多くある。子どもの数が減ってきた、子どもは受験があるので継続しにくいという声が多い。また、親が子どもを習わせる場合が多いので30代の親の理解が得難い今日ではその子の舞踊教育は困難であると、すでに親世代が伝統芸術離れしていることを懸念する声があった。さらに、昔は舞踊は生活の基本になると言われていたという指導者の自負に

対して最近の人はあまり真剣でないという嘆きの声が聞かれた。

(ロ)バレエ

左京区(6)の他は右京区(0)、山科区(0)を除いて各区に数ヶ所ずつ在る。1教室を除いて自宅とは別の専用の施設で行われている。月謝は1万円前後が最も多い。回答者のうち現在の状態は約半数が以前と変わらない。約4割が悪くなったと答えている。子どもの数の減少、継続する人の減少の声が聞かれる。しかし将来展望においては、5割が現状維持、残りの5割が拡大と答えている。

(ハ)社交ダンス、ジャズダンス、その他

下京区(17)、中京区(14)の都心を中心に各区で開かれている。自宅は約1割のみでほとんどが自宅以外の専用の別の建物で行われている。幼稚園等に出張して教えるというものもある。月謝は、1000円から数万円と幅が広いが5000円が最も多い。現状は以前より下降、同じ、上昇が約3割前後であるが、将来展望においては53.7%が現状維持、46.3%が拡大と答え縮小は1教室もない。約5割が大人のみを指導対象としているのも特徴といえる。指導内容は各種あり、コースもインストラクターの指導取得のものから舞踊専門の学校の受験、趣味と各種あり、レッスン方法も個人、グループがある。子どもの減少、バブル崩壊後の大人の減少、ダンスブーム後の減少などの声が聞かれる。人数が減った分質を向上していきたいという意見もあった。

21) スポーツ (イ)ジムトレーニング、フィットネス、マシーントレーニング、ウェイトトレーニング (ロ)ゴルフ、スイミング、スキー、ダイビング、アーチェリー、乗馬、フェンシング、バトン、その他 (ハ)テニス

(イ)のフィットネスクラブなどは、都心のビルの中にあるので中京区(5)が最も多く、他は数ヶ所のみである。広いスペースのいる(ロ)のスイミング等は他の教室と異なり、右京区(10)、左京区(9)、伏見区(7)に多い。(ハ)のテニスも左京区(3)と伏見区(3)が最も多い。いずれも自宅使用は皆無で、当然のことながら専用施設を用いている。月謝はいずれも5000円から数万円と幅が広い。入会金はいずれも数万円と高額である。現状は以前より下降38.2%、同じ41.2%、上昇20.6%であるが、将来展望は、現状維持33.3%に対して拡大が66.7%である。スイミングやスポーツ教室は幼児や児童が減少してきたのに対し、成人のニーズに合わせた各種コースが増加したや高齢者を対象としたコースを新たに設けたという声が聞かれた。

22) 武 道一合気道、剣道、拳法、空手、柔道、太極拳、気功、古武道、弓道

都心に集中するのではなく各区に分散している。自宅の一部を道場に行っているという回答も38.1%あったが、専用建物や貸しビルを使用しているところが61.9%もある。

月謝は3000円から1万円台まで様々であるが比較的安い。回答者のうち現状は、以前と比べて下降25.0%, 同じ40.0%, 上昇35.0%であるが将来は、縮小5.0%, 現状維持38.9%, 拡大55.6%と拡大が最も多い。色々な種目を教えるようにしたい等ニーズの多様化に合わせて拡大していくという声が聞かれた。

23) 資格 (イ)話し方, 写真等 (ロ)理容, 美容 (ハ)針灸, 指圧 (ニ)医療

(イ)は下京区(36), 中京区(15)と69.9%が都心に集中している。9割以上が専用建物で専門的指導を行っている。月謝は15000円から80000円と講座により様々である。以前と比べると現在の状況は下降12.8%, 現状維持51.3%, 上昇35.9%であるが将来は縮小2.4%, 現状維持40.5%, 拡大57.1%と見通しを明るく持っている。資格取得希望者の増加の中でも大学生の学習者が増える傾向にあるという。(ロ)(ハ)(ニ)は、本調査の対象とはしていないが、場所は(ロ)(ハ)(ニ)を合わせて下京区(7)と都心に一番多くある。

24) 自動車学校

本調査の対象外ではあるが、場所の分布は当然のことながら広いスペースを必要とするため、都心から離れた右京区(11), 伏見区(6)に56.7%が集中している。

2. 京都市の民間社会教育機関の概要

中京区, 下京区の都心のビルに, 語学や料理, ワープロ・パソコン関係の社会教育機関, また大手カルチャーセンターが提供している教養, その他が集中しているのに対し, 華道, 茶道, 編み物, 日舞等は, 上京区や中京区に比較的多くあるものの各区に分散している。特殊な施設の必要なスイミングの他, そろばんも他とは異なる特異な分布を示している(図4)。

都心集中型の科目は, ビルを使った専用施設において指導が行われる大規模型でモダンといわれるレッスン型のものが多いが, 分散型は古くから自宅を用いて指導しているいわゆる伝統のお稽古型が多い。さらにこの都心集中型と分散型の規模の差異は, 広報の方法に顕著に表れている。すなわち, 都心集中型の比較的規模の大きい語学やワープロ・コンピュータ関係では広報方法に新聞雑誌やチラシ, ポスター・看板と数種類を用い, 費用をかけている。それに対し, 分散型の小規模で自宅を使用している伝統のお稽古ごとの書道や華道, 茶道は多くを口コミに頼っているという傾向がみられる(資料2)。

多くの民間学習機関においては, 子どもの数の減少, 受験勉強や塾通いの影響等により, 子どもの生徒数の減少がみられた。また, いわゆる花嫁修業のお稽古概念から

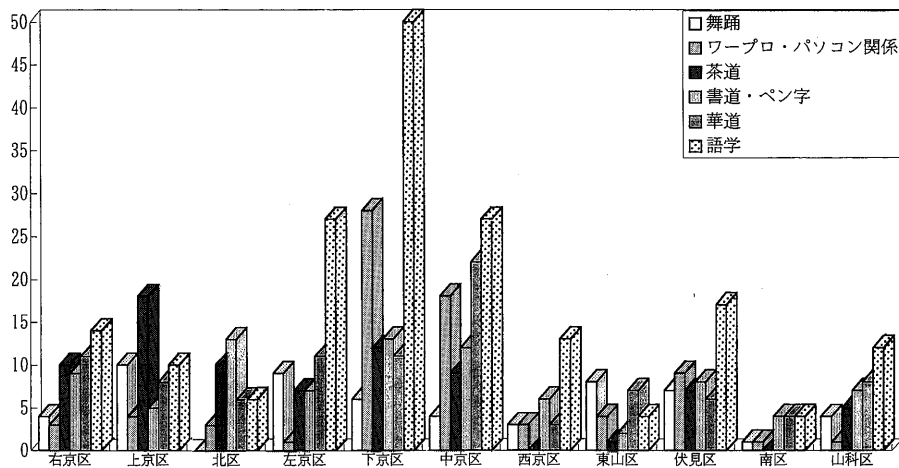


図4 各教室の分布

趣味化、個人化への移行、さらには景気の動向、ブームによる生徒数の増減等、現代的变化の影響を大きく受けている。

日舞、和裁、琴等の伝統のお稽古事といわれているものは、生活の作法を教えるという指導者の自負に反し、生徒数の減少がみられる。いわゆる伝統的な師匠と弟子の関係が保てなくなったという指導者と学習者の関係の変化の他、長い時間をかけて取っていく資格から、短期間で取得できかつ有用な資格へと学習者の資格に対する態度の変化の声も聞かれた。これらの変化に対し、個々の学習機関においては、対象を生涯学習時代の新しい学習者である成人男女や、増加する高齢者に拡大していくことや、ニーズの多様化に合わせた新しいプログラムの開発等が進められている。また指導科目を増やしたり、別の学習機関を併設する等の多角化も試みられている。琴、書道、茶道、華道にみられるように、学校教育の中のクラブ・サークル活動として多くの若者を指導している等、大学都市であることと伝統的文化都市であることが結びついた現象もみられる。

伝統のお稽古事といわれる科目の教室の現状は必ずしも良くない。しかし、縮小よりは現状維持さらには拡大を目指している傾向にある。各教室が試みているように、伝統とは守り続けるだけでなく創り上げるものである。伝統のお稽古ごとが新しい流れにいかに対応していくかは、京都の成熟度と深い関わりがあるといえる。今後は学習場所と内容の情報を市民に知らせる新しい方法の創造や多様化に合わせたプログラムの創造等、新しい手法が必事となる。これからの生涯学習体系創りには民間社会教

育機関の地域における役割と在り方を位置付けた取り組みが必要と思われる。

Ⅲ．学びの場，成熟の場としての京都

近年では，新たな生涯教育の観点をもとに，社会教育の展開が進められている。1965（昭和40）年ユネスコ第3回成人教育推進国際委員会において，ポールラングラン（Paul Lengland）が生涯教育を提起し，1969（昭和44）年OECD・OERI（経済協力開発機構・教育研究センター）が1970年代の教育方向としてリカレント教育を打ち出した。以来，世界的に生涯教育，及びリカレント教育の概念が普及し，様々な形で生涯教育が推進されてきた。

日本においては，1971（昭和46）年に社会教育審議会答申「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」及び中央教育審議会答申「今後に於ける学校教育の総合的な拡充・整備のための基本的施策について」において，生涯教育・生涯学習の概念が導入された。社会教育も生涯教育の一環としてその発展が期待されることとなった。

1981（昭和56）年の中央教育審議会答申「生涯教育について」においては，生涯教育・生涯学習を単なる社会経済的要請として捉えるのではなく，「国民一人一人が充実した人生を送ることを目指して生涯にわたって行なう学習を助けるために，教育体制全体がその上に打ち立てられるべき基本的な理念である。」と明言するに至っている。また，生涯教育を押し進めるためには，社会教育の振興をうながしている。以後，国及び地方自治体に生涯教育・生涯学習を検討・推進するための各種委員会が設けられた。

さらに臨時教育審議会の1985（昭和60）年の第一次答申から1987（昭和62）年の第四次答申においては，生涯学習体系への移行を主軸とする教育体系の総合的再編が提言されて，社会教育，学校教育，家庭教育の有機的連携が求められている。

京都市においては，1987（昭和62）年6月に社会教育に関する答申「生涯教育の観点を踏まえ，長期的展望に立った本市社会教育の在り方について」が京都市社会教育委員会議から出された。さらに1992（平成4）年7月の国の生涯学習審議会答申も踏まえて，市民の生涯学習推進のための種々の取り組みや諸事業が展開されている。

1993（平成5）年3月に策定された「京都市基本計画」においても生涯学習部門の計画には，京都市社会教育委員会答申の基本的な考え方が盛り込まれている。1993（平成5）年12月には，市長を議長，助役を副議長として局区長34名で構成する「京都市

生涯学習行政推進会議」を設置、1994（平成6）年1月には、市民の組織として、市民団体や生涯学習関連機関の代表者163名の参画する「京都市生涯学習市民フォーラム」が発足した。この推進体制のもとに、1994（平成6）年11月12日に「京都市生涯学習まちづくり憲章」が制定され、同年同日に「生涯学習のまちづくりアピール」が採択された。

京都市における生涯教育及び社会教育の特色は、京都が今まで築いてきた伝統文化を現代に融合させることにある。伝統文化を尊重しながらも、現代的変革を持って今を生きている人間の為の生涯学習を充実させることにある。京都市の社会教育に関する答申においても「京都市には全国の国宝の約20％、重要文化財の約15％が存在している。また、美術館・博物館等の社会教育関連施設、社寺が多く存在するなど多数の学識経験者、芸術家、伝統産業の技能者等が居住するなど学術・文化・教育の面で、人的・物的資源や情報が質的にも量的にも豊富に存在していると言える」としながらも、さらにそれが市民の学習活動に様々な影響を与えてはいるが、「そうしたいろいろな資源や情報が「市民一人一人のものとして効果的に活用されているか」と言えば、必ずしも十分であるとは言えません。」と述べている。京都の生涯教育及び社会教育には豊かな京都の文化を生かしていくことが求められている。

京都の生涯教育及び社会教育のもう一つの特色は、学区との結びつきである。京都は、寺小屋や私塾などにおける庶民に対する教育が早くから普及している地域であった。同時に前章で述べたように、町組の集会所である町会所において町組を中心とした地域の教育が行われていた。1869（明治2）年5月21日、上京第二十七番小学校（柳池校）の開業式を皮切りに、番組小学校と呼ばれる学校が市内に64校があいついで開校するなど、1872（明治5）年の学制発布に先立って、全国初の小学校が開校している。資金の調達も町組の町人に頼るところが多く、上京第十一番組（桃園）、第二十五番組（龍池）、第二十六番組（初音）、第十七番組（柳池）は、町組が自力で学校を建てているのである。当初の校舎は、100坪程度のものであったが、校内には町組会所があった他、交番所、消防署、保健所等の機能を持っていた。維持運営のために町組ごとに拠出金などを積み立て、小学校会社を設立し、貸付の利潤を諸経費にあてていた。このように京都においては、地域と教育は学校教育においても密接な結びつきを持っていた。

番組小学校創設にかかわり、この行政区と各町の中間に位置する京都独特の地域住民の自治単位である元学区が、地域生活に果たしている機能は、番組小学校が創設された市内中心部だけでなく周辺部へも広がるなど時代に対応して、またそれぞれの地

域の実情に応じて全市的と言える広がりを持ち、今日も他都市にない特色を見せている。

学区を基盤としたコミュニティーの伝統を生かした生涯学習教育の一つに、「学校コミュニティープラザ事業」がある。1995（平成7）年5月から第一号として西京区の大原野中学校のコミュニティーホールを中核とする「洛西南ゾーン」が開かれた。おおむね2中学校区を一つの生涯学習ゾーンとして、そのゾーン内にある小・中学校の校舎・体育館の新築・改築・改修などを行う際に、地域の特色を生かした生涯学習型の施設を設置し、地域の自発的な生涯活動に役立てようとするものである。今後幾つかのゾーンを創っていくことが京都市教育委員会によって計画されている。また、1989（平成元）年から始められ、毎年2校ずつ開校され1995（平成7）年までに16校によって開設されているのが「学校ルネッサンス事業」である。余裕教室の2教室相当を改修し、多目的ホールなどを設置するとともに、特別教室の開設を併せて行うというものであり、自治連合会やPTAなど校下の諸団体と学校で構成する地元の「管理運営委員会」が管理運営を行い、文化活動の利用に供するというものである。

さらに京都の歴史・文化の層のあつみと、地域と学校教育の結び付きを同時に表すものの一つに、「学校文化財」と呼ばれているものがある。京都市の学校には数多くの書画、陶磁器の名品の他、学校教育の貴重な歴史資料が所蔵されている。これらは、地元出身の作家や学区民によって寄贈されてきたものである。町衆の学校への思い入れと、京都の文化の高さを表すものとして、京都の貴重な財産といえるものである。しかし、現在ではこれらの貴重な美術工芸品も、破損・散逸の危機状況にある。京都市は、これらの学校文化財の保存展示と、学校を創り上げた町衆の精神を引き継ぐ生涯学習の拠点として学校歴史博物館構想の策定を推めている。過去にある歴史と文化を現代に生かし、かつ現代の市民の生涯学習を推進していくためにはただ単に過去を語るだけではなく、次々と新たな手立てと創造が必要であることを端的に表している例といえる。

京都は平安遷都以来、日本の文化・教育の中心を占め、学びの場として歴史的に特別な位置を保ち続けてきた。さらに現在も、それらの伝統を礎にした恵まれた学びの地である。形式的学習としての学校教育においては、地域に密着した町衆が創りあげてきた小学校や、大学の町京都といわれるくらいの数多くの大学があることを見逃すことはできない。同時に非形式的学習としての社会教育においても、地域に根ざした民間社会教育施設（稽古事教室）や6大都市中人口割合において最も多い博物館（京都市内博物館施設連絡協議会加盟博館119館）等、多くの学びの機会と施設がある。

また、集団で行う場合も個人で行う場合もある程度学習の方向が定められている上記の組織的学習に加え、日常生活や日常空間の中で気付くと気付かざるとにかかわらず、常に何らかの影響を受けている非組織的学習においても、建物や空間、町の佇まい、商店の展示物や食べ物、さらに京の年中行事等が豊富にあるのが京都の特徴といえる。これらの京都の学びを生かすためには、町会所の学習や番組小学校創設にみられる教育と学びの原点に帰り、新しいネットワーク創りによって、形式的学習と非形式的学習、及び組織的学習と非組織的学習の連携と融合、さらには、学区を中心とする狭い区域における学習と京都市全域に及ぶ大京都における学習との連携、融合が進められていくことが期待される。

京都における高い学びの精神は、町組にみられる強い自治の精神と深く結びついたものである。学びとは、さらに向上することや、新しいものを取り入れる変化と結びついている。変化への対応によって成熟度を計ることができる。自治の精神と変革性の伝統を持つ京都文化は、さらに時代の変化に柔軟かつ強靱に対応していく力を秘めていると考えられる。それが可能になってこそ、京都は成熟都市ということができるのである。既に多くを「持つ (to have)」京都が成熟都市として「在る (to be)」存在様式の人間をはぐくみ「在る」存在様式の都市となるためには、主体性が最も要求される生涯教育及び社会教育において、変革と創造が続けられていくことが期待される。

資料1 内容・場所

番号	内 容	場 所	右京区	上京区	北区	左京区	下京区	中京区	西京区	東山区	伏見区	南区	山科区	総 計
1イ	音楽	ピアノ関係, ギター, バイオリン	7	5	5	18	12	21	16	1	17	6	5	113
1ロ	音楽	琴, 三味線, 尺八, 詩吟, 民謡	2	2	5	1	4	4	1	2	4	2	1	28
1ハ	音楽	歌謡, その他 (カラオケなど)	4	3	3	2	7	6	3	1	1	1	2	33
2	書道・ペン字		9	5	13	7	13	12	6	2	8	4	7	86
3	囲碁・将棋		9	3	3	3	5	7	0	0	6	1	1	38
4	絵画, 美術 (受験)		3	5	3	6	7	8	2	0	7	1	6	48
5イ	クラフト関係	クラフト, 手芸, 染色, 七宝焼, 彫金, 人形, 彫刻	7	7	0	8	8	3	1	1	3	1	3	42
5ロ	クラフト関係	陶芸	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	7
5ハ	クラフト関係	フラワーデザイン	4	2	1	1	4	3	1	0	1	2	1	20
6	そろばん		11	8	5	5	3	4	5	2	7	4	8	62
7	料理		1	1	2	0	6	8	2	1	3	0	3	27
8	幼児		2	0	5	5	5	4	2	0	1	1	4	29
9	語学	日本語, 外国語	14	10	6	27	50	27	13	4	17	4	12	184
10	教養・その他	文学, 宗教, 俳句, 手話, ビデオの製作, インテリア, その他	7	5	2	3	16	9	4	1	3	0	2	52
11	華道		11	8	6	11	11	22	3	7	6	4	8	97
12	茶道		10	18	10	7	12	9	0	1	7	0	5	79
13	香道		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
14	洋裁		2	6	2	3	9	7	0	1	4	4	3	41
15	和裁		1	6	3	1	5	5	2	3	1	1	1	29
16	編み物		8	6	5	9	2	3	1	2	6	0	3	45
17	着付け		7	1	3	6	20	8	5	1	7	1	7	66
18	ワープロ・パソコン関係	ワープロ, マイコン, コンピュータ	3	4	3	1	28	18	3	4	9	1	1	75
19	健康	エアロビクス, 体操, ヨガ, その他	5	9	3	3	13	9	3	2	10	4	3	64
20イ	舞踊	日舞	4	10	0	9	6	4	3	8	7	1	4	56

20ロ	舞踊	バレエ	0	1	2	6	3	2	3	1	3	1	0	22
20ハ	舞踊	社交ダンス, ジャズダンス, その他	4	9	1	9	17	14	6	9	3	2	1	75
21イ	スポーツ	ジムトレニング, フィットネス, マシントレーニング, エイトレーニング	2	3	0	2	2	5	2	0	3	0	0	19
21ロ	スポーツ	ゴルフ, スイミング, スキー, ダイビング, アーチェリー, 乗馬, フェンシング, バトーン, その他	13	6	2	11	3	6	5	0	8	4	4	63
21ハ	スポーツ	テニス	1	0	1	3	0	0	1	0	0	2	3	11
22イ	武道	合気道	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	1	5
22ロ	武道	剣道	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4
22ハ	武道	拳法	0	1	1	3	0	2	2	0	1	1	1	12
22ニ	武道	空手	3	1	4	1	0	1	1	0	2	0	2	15
22ホ	武道	柔道	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
22ヘ	武道	太極拳	0	1	1	2	0	2	0	0	2	0	0	8
22ト	武道	気功	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
22チ	武道	古武道	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22リ	武道	弓道	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
23イ	資格	話し方, 写真, 製図, タイピスト, 速記者, ビジネス, 法律, 調理師, 歌詞, 栄養士, 観光, 喫茶, アンダー, 芸能俳優, シン, 翻訳, 簿記, 経理, 歯科助手, 看護学校, 海技教習所	3	5	2	1	36	15	4	1	2	2	2	73
23ロ	資格	理容・美容	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
23ハ	資格	鍼灸, 指圧	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	4
23ニ	資格	医療	0	0	0	2	5	1	2	0	0	0	0	10
24	自動車		11	1	3	2	1	2	0	1	6	1	2	30
	総計		171	155	107	179	317	254	107	59	167	57	110	1683

資料2 状況・広報

番号	内 容	場 所	現在の状況			展 望			広 報											
			下降	維持	上昇	N.A.	総計	下降	維持	上昇	N.A.	総計	ポスター・看板	新聞・雑誌	ダイレクトメール	チラシ	その他	広報7	N.A.	
1イ	音楽	ピアノ関係、ギター、バイオリン	19	22	28	44	113	0	27	38	48	113	33	14	25	6	22	11	2	40
1ロ	音楽	琴、三味線、尺八、詩吟、民謡	4	8	3	13	28	0	9	6	13	28	8	3	5	1	3	4	0	13
1ハ	音楽	歌謡、その他（カラオケなど）	7	11	9	6	33	0	13	13	7	33	12	2	12	1	6	2	2	6
2	書道・ペン字		15	15	10	46	86	1	16	21	48	86	28	2	9	1	9	4	3	46
3	囲碁・将棋		5	14	2	17	38	0	18	4	16	38	21	1	1	0	1	0	0	16
4	絵画、美術（受験）		7	14	7	20	48	1	18	8	21	48	7	3	9	2	8	3	5	17
5イ	クラフト関係	クラフト、手芸、染色、七宝焼、彫金、人形、彫刻	6	7	8	21	42	2	12	5	23	42	11	3	9	3	6	5	2	17
5ロ	クラフト関係	陶芸	0	1	1	5	7	0	1	1	5	7	0	0	0	0	0	0	0	5
5ハ	クラフト関係	フラワーデザイン	2	4	1	13	20	0	5	1	14	20	4	1	1	0	3	0	2	13
6	そろばん		22	3	3	34	62	4	16	7	35	62	22	3	1	6	10	1	0	34
7	料理		2	5	4	16	27	0	4	7	16	27	6	0	4	1	1	1	5	16
8	幼児		6	5	7	11	29	0	7	10	12	29	9	2	7	3	7	1	0	10
9	語学	日本語、外国語	23	19	123	184	4	20	43	117	184	22	12	35	5	14	10	6	109	
10	教養・その他	文学、宗教、俳句、手話、ビデオの製作、インテリア、その他																		
			11	9	6	26	52	1	17	7	27	52	11	3	14	4	9	4	9	23
11	華道		15	19	3	60	97	1	21	13	62	97	22	4	7	2	9	6	3	58
12	茶道		11	16	8	44	79	2	16	14	47	79	21	4	7	2	7	4	4	44
13	香道		0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
14	洋裁		8	7	1	25	41	2	9	5	25	41	11	2	3	0	6	4	2	23
15	和裁		4	9	3	13	29	1	11	5	12	29	14	1	3	0	2	1	0	11
16	編み物		18	5	1	21	45	3	13	5	24	45	20	1	2	0	6	3	3	17
17	着付け		9	13	7	37	66	1	13	13	39	66	13	10	11	2	8	4	4	32
18	ワープロ・パソコン関係	ワープロ、マイコン、コンピュータ	4	25	8	38	75	1	10	24	40	75	8	8	24	5	7	10	5	33

19	健康	エアロビクス, 体操, ヨガ, その他	6	6	15	37	64	2	6	17	39	64	9	3	18	2	14	3	6	32
20イ	舞蹈	日舞	10	5	5	36	56	1	10	8	37	56	12	2	6	1	2	2	2	34
20ロ	舞蹈	バレエ	5	7	1	9	22	0	6	6	10	22	7	2	4	1	3	2	0	9
20ハ	舞蹈	社交ダンス, ジャズダンス, その他	15	13	16	31	75	0	22	19	34	75	28	1	20	4	12	6	5	30
21イ	スポーツ	ジムトレニング, ファットネス, マンントレーニング, エイトトレニング																		
21ロ	スポーツ	ゴルフ, スイミング, スキー, ダイビング, フェンシング, バトーン, その他	0	0	1	18	19	0	0	1	18	19	1	0	0	0	1	0	0	18
21ハ	スポーツ	テニス	12	12	7	32	63	0	9	19	35	63	13	6	15	3	11	3	3	50
22イ	武道	合気道	1	2	0	8	11	0	1	1	9	11	2	0	1	0	1	0	0	8
22ロ	武道	剣道	0	1	2	2	5	0	1	3	1	5	4	1	1	1	1	0	1	1
22ハ	武道	柔道	0	2	0	2	4	0	1	1	2	4	2	0	1	0	0	0	0	2
22ニ	武道	空手	1	2	1	8	12	0	2	2	8	12	4	1	1	1	1	1	0	8
22ホ	武道	太極拳	3	1	2	9	15	0	1	3	11	15	3	3	1	1	4	1	0	9
22ヘ	武道	気功	0	0	0	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3
22チ	武道	弓道	1	2	1	4	8	1	1	1	5	8	3	3	2	1	2	1	1	4
22リ	武道	話し方, 写真, 製図, タブレット, 速記, ビジネス, 法律, 調理師, 歌詞, 楽譜, 易占, 観光, 職業・バーテンダー, 茶能, 俳句, デザイン, 翻訳, 簿記, 経理, 歯科助手, 看護学校, 海技教育	0	0	1	1	2	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1
23イ	資格	理容・美容	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
23ロ	資格	鍼灸, 指圧	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
23ニ	資格	医療	0	0	0	10	10	0	0	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	10
24	自動車		0	0	0	30	30	0	0	0	30	30	0	0	0	0	0	0	0	30
	総計		257	304	206	919	1686	29	355	355	947	1686	400	108	288	65	202	108	84	851

資料3 規模

番号	内 容	場 所	別棟の 内 容	別 棟							
				自 宅	自 宅ビル	テナント	出張所	会 館	貸 家	その他	N.A.
1イ	音楽	ピアノ関係, ギター, バイオリン	13	24	28	3	0	1	2	0	
1ロ	音楽	琴, 三味線, 尺八, 詩吟, 民謡	7	7	2	0	0	1	0	0	
1ハ	音楽	歌謡, その他 (カラオケなど)	5	11	11	0	0	1	0	0	
2	書道・ペン字		12	11	9	0	1	3	2	2	
3	囲碁・将棋		9	1	12	0	0	0	0	0	
4	絵画, 美術 (受験)		8	4	17	0	0	0	1	0	
5イ	クラフト関係	クラフト, 手芸, 染色, 七宝焼, 彫金, 人形, 彫刻	6	3	11	0	0	2	4	0	
5ロ	クラフト関係	陶芸	2	1	0	0	0	0	0	0	
5ハ	クラフト関係	フラワーデザイン	0	2	4	0	0	0	2	0	
6	そろばん		13	0	4	1	1	8	0	0	
7	料理		2	3	4	0	0	0	1	0	
8	幼児		0	3	10	0	0	4	3	0	
9	語学	日本語, 外国語	7	14	53	0	1	2	4	0	
10	教養・その他	文学, 宗教, 俳句, 手話, ビデオの製作, インテリア, その他	3	12	9	1	0	2	2	0	
11	華道		15	6	8	0	1	1	2	0	
12	茶道		17	6	5	0	1	0	1	1	
13	香道		0	0	1	0	0	0	0	0	
14	洋裁		6	5	2	1	0	0	2	0	
15	和裁		13	3	2	0	0	1	0	0	
16	編み物		14	1	7	0	0	0	2	0	
17	着付け		10	3	18	0	0	0	0	0	
18	ワープロ・パソコン関係	ワープロ, マイコン, コンピュータ	0	5	36	0	0	0	0	2	
19	健康	エアロビクス, 体操, ヨガ, その他	2	17	25	0	0	0	2	2	
20イ	舞踊	日舞	12	2	4	2	0	0	1	0	
20ロ	舞踊	バレエ	1	2	11	0	0	0	0	0	
20ハ	舞踊	社交ダンス, ジャズダンス, その他	6	12	26	2	2	0	1	1	
21イ	スポーツ	ジムトレーニング, フィットネス, マシントレーニング, エイトトレーニング	0	9	10	0	0	0	0	0	
21ロ	スポーツ	ゴルフ, スイミング, スキー, ダイビング, アーチェリー, 乗馬, フェンシング, バトン, その他	0	28	17	0	0	0	2	3	
21ハ	スポーツ	テニス	0	0	0	0	0	0	3	0	
22イ	武道	合気道	3	1	1	0	0	0	0	0	
22ロ	武道	剣道	0	2	0	0	0	0	1	0	
22ハ	武道	拳法	1	2	2	0	0	0	0	0	
22ニ	武道	空手	2	1	2	0	0	2	0	0	
22ホ	武道	柔道	0	0	0	0	0	0	0	0	
22ヘ	武道	太極拳	0	1	5	0	0	0	0	1	
22ト	武道	気功	0	1	0	0	0	0	0	1	
22チ	武道	古武道	1	0	0	0	0	0	0	0	
22リ	武道	弓道	1	0	0	0	0	0	0	0	
23イ	資格	話し方, 写真, 製図, タイピスト, 速記者, ビジネス, 法律, 調理師, 歌詞, 栄養, 易占, 観光, 喫茶・バーテンダー, 芸能・俳優, デザイン, 翻訳, 簿記, 経理, 歯科助手, 看護学校, 海技教習所	4	6	30	0	0	0	0	3	
23ロ	資格	理容・美容	0	0	0	0	0	0	0	0	
23ハ	資格	針灸, 指圧	0	0	0	0	0	0	0	0	
23ニ	資格	医療	0	0	0	0	0	0	0	0	
24	自動車		0	0	0	0	0	0	0	0	
	総計		195	209	386	10	7	28	38	16	

両 方						N.A.	全体数 平 均	教師数平均
自社ビル	テナント	出張所	会 館	その他	N.A.			
0	0	2	0	0	0	40	262.4	12.6
0	0	0	0	2	0	9	68.5	2.9
0	0	0	0	1	0	4	109.2	4.1
2	2	0	1	1	0	40	63.4	2.0
0	0	0	0	0	0	16	36.7	1.7
0	3	0	0	0	0	15	111.0	5.6
0	0	0	0	1	0	15	75.0	4.3
0	0	0	0	0	0	4	122.5	1.0
0	0	0	0	0	0	12	73.0	2.8
0	0	0	0	1	0	34	94.6	2.3
0	1	0	0	0	0	16	274.3	5.1
0	1	0	0	0	0	8	80.0	9.2
0	0	0	0	0	0	103	350.8	13.8
0	1	0	0	1	0	21	891.0	34.6
0	4	0	0	3	0	57	49.6	3.1
0	3	0	0	1	0	44	302.4	2.9
0	0	0	0	0	0	0		
0	1	0	0	0	0	23	37.8	13.9
0	0	0	0	0	0	10	29.9	3.1
0	3	0	0	1	0	17	29.3	2.2
0	0	0	0	3	0	31	939.3	227.2
0	0	0	0	0	0	32	155.6	8.9
0	0	0	0	0	0	16	896.1	7.9
0	0	1	0	1	1	32	30.6	24.3
1	0	0	0	0	0	7	128.4	6.3
0	1	0	0	0	0	24	171.8	5.4
0	0	0	0	0	0	0	30.0	7.0
0	0	0	0	0	0	13	1066.5	17.4
0	0	0	0	0	0	8	700.0	10.0
0	0	0	0	0	0	0	214.3	7.8
0	0	0	0	0	0	1	175.0	5.0
0	0	0	0	0	0	7	199.3	6.8
0	0	0	0	0	0	8	194.3	8.0
0	0	0	0	0	0	3		
0	0	0	0	0	0	1	165.8	11.7
0	0	0	0	0	0	0	200.0	5.0
0	0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	1	0	29	116.2	9.3
0	0	0	0	0	0	3		
0	0	0	0	0	0	4		
0	0	0	0	0	0	10		
0	0	0	0	0	0	30		
3	20	3	1	17	1	750	259.4	17.69160305